

事務事業実績測定調書

R4調書番号 679

事務事業名称	ホームページ等活用事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	インターネットによる情報収集が可能な人。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	広報紙の発行は月に1回であり、最新情報をリアルタイムでは取得できない。また、ページ数にも限りがあるため詳しい情報を知ることが困難。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	万全なセキュリティ対策とアクセス集中にも耐えうる通信体制が構築され、市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる状態。				
事業概要	市政情報全般を随時更新して提供。トップページでは緊急情報や重要な市政ニュース、新着情報、イベント情報などを掲載するとともにバナーを活用して情報の入り口を掲載。市公式SNSを用いて幅広く情報を発信。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。				ホームページにて随時市政情報等を発信する。				ホームページによる情報発信を行える環境を整える。			
指標設定	指標説明	市ホームページの年間ユーザー数				新規に作成または更新されたホームページ数				各課ホームページ担当者への研修、頼りになる広報課へのホームページに関する相談の合計			
		単位 件				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	2,672,000	3,022,000	3,372,000	3,722,000	2,400	2,400	2,400	2,400	15	5	5	5
達成度	144%				95%				720%				
ロジックモデル②		市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。				市SNSにて随時市政情報等を発信する。				市SNSによる情報発信を行える環境を整える。			
指標設定②	指標説明	市ホームページの年間ユーザー数				市公式ツイッター・フェイスブック・LINEによる投稿数(自動発信を除く)				各課からの市公式SNS発信依頼件数			
		単位 件				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	2,672,000	3,022,000	3,372,000	3,722,000	—	1,500	1,600	1,700	—	1,000	1,100	1,200
達成度	144%				171%				171%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,558	14,143	6,752		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	13,558	14,143	6,752		
物件費計	5,269	17,218	6,332	7,120	88.9%	
歳出計	18,827	31,361	13,084			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	784	469	439	720	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	784	469	439	720	
一般財源（物件費に充当されるもの）	4,485	16,749	5,893	6,400		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染者の全数把握見直しに伴い、市ホームページの年間ユーザー数は前年比で減少したものの、ツイッターやフェイスブック、LINEといった市公式SNSの活用を広げ各課からの発信依頼を含む投稿件数が増加するなど多様な情報をホームページと連動させ積極的に情報発信した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	リアルタイムで最新情報を発信できるホームページやSNSを積極的に活用するとともに、情報を見つけやすく、見やすい内容やページ構成を意識して引き続き改善を進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 680

事務事業名称	機関紙コンクール等事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1976(S51)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	PTA、自治会、サークル団体の広報担当者として機関紙づくりをしている人。			
	サブターゲット	広報所管部署の職員。			
	ターゲットが抱える課題	地域媒体で広報担当になる人の多くは、紙面作りのノウハウがなく、スキルを学び、成果物に関して客観的な評価を得る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上するような広報スキルを学ぶ機会、発表する場がある状態。				
事業概要	①職員が講師となり5月に講習会(1回完結・全3回)を開催。②講習会の成果の発表の場としてコンクールを実施。12月に作品を募集し、1月に審査を実施(審査員は枚方記者クラブ記者や地域情報誌発行者など)。2月に表彰式と審査員による講評、展示会を開催。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上出来る。				自治会やPTA、サークルの広報担当者がコンクールに興味を持ち、参加する。				講習会を実施する。			
指標設定	指標説明	コンクール参加者へのアンケートで「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の割合 【算出式:「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の数/コンクール参加者×100】				コンクール参加団体数				講習会参加者数			
		単位		%		単位		団体		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	90	90	90	90	45	45	45	45	40	40	40
	実績	0	0	80		0	0	41		0	0	25	
	達成度	89%				91%				63%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	1,964	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	1,964	1,562		
	物件費計	106	74	110	136	80.9%
	歳出計	2,100	2,038	1,672		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	106	74	110	136	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2・3年度は中止(同3年度は「人と人とのつながり」をテーマに機関紙を募集し講評を行う機関紙コレクションを開催。22作品を広報ひらかたや市ホームページで紹介)した機関紙作り講習会およびその成果発表の場である機関紙コンクールを3年ぶりに開催し、講習会には25人、コンクールには41団体が参加した。3年ぶりの開催も影響し目標には及ばなかったものの、8割の参加団体から高い満足度を得た。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民活動の活性化や地域の取り組みが広く伝わる広報力を高めるよう、講習会や出前講座への対応等に引き続き取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 681

事務事業名称	広報ひらかた発行事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1951(S26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	広報ひらかたから情報を取得している市民(在住外国人を含む)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	住んでいるまちの情報を定期的・確実に得る手段が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての市民(在住外国人を含む)が、毎月の特集や市政ニュース、まちの話題、市民登場、枚方キッチンといったコーナーで、読んで楽しみ、お知らせ面では分類毎の掲載により知りたい情報を見つけやすいよう工夫した冊子から情報を入手できる状態。				
事業概要	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布するとともに、聴覚障害者向けに点字録音版も発行。内容はテーマを持って掘り下げた特集、市政ニュース、安心情報、各種イベントや求人・保険ガイドのお知らせ、まちの話題などをタイムリーに掲載。また、重要課題を分かりやすく情報提供するため、4ページの特集号を必要に応じて年度に1回発行。加えて、アプリの活用により広報紙の多言語対応を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																										
ロジックモデル		市民が住んでいるまちの情報を定期的・確実に得ることができる。	広報紙をすべての市民が入手できる。	広報ひらかたを発行する。																																										
指標設定	指標説明	スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合 【算出式:「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】	年間配布部数(通常号のみ)	年間発行回数(通常号のみ)																																										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>94</td> <td>91</td> <td>93</td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	80	80	80	80	94	91	93		<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>部</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>2,230,000</td> <td>2,230,000</td> <td>2,230,000</td> <td>2,230,000</td> </tr> <tr> <td>2,249,639</td> <td>2,475,900</td> <td>2,289,200</td> <td></td> </tr> </table>	単位	部	R2	R3	R4	R5	2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,249,639	2,475,900	2,289,200		<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </table>	単位	回	R2	R3	R4	R5	12	12	12	12	12	12	12	
	単位	%																																												
R2	R3	R4	R5																																											
80	80	80	80																																											
94	91	93																																												
単位	部																																													
R2	R3	R4	R5																																											
2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,230,000																																											
2,249,639	2,475,900	2,289,200																																												
単位	回																																													
R2	R3	R4	R5																																											
12	12	12	12																																											
12	12	12																																												
達成度	116%		103%		100%																																									

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	2.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	21,533	18,071	21,092		
	会計年度任用職員	0	829	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,533	18,900	21,092		
	物件費計	82,393	77,725	70,105	74,415	94.2%
	歳出計	103,926	96,625	91,197		
歳入	国庫支出金	1,719	1,983	2,292	3,739	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	859	991	1,146	1,910	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,740	7,685	7,417	6,748	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	9,318	10,659	10,855	12,397	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	73,075	67,066	59,250	62,018	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症関連情報やワクチン接種に関する最新情報などを毎号取り上げ、民生委員・児童委員の活動や終活、ヤングケアラーの課題などの福祉分野をはじめ、先進的なICT教育といった市内外から注目を集める市の施策を特集として発信した。暮らしの中で市民が関心をもつ企画の選択や紙面づくりが評価につながっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き市が力を入れる施策や市の魅力を紹介する紙面づくりを行うとともに、エネルギー価格や物価高騰対策での支援策など市民生活にとって重要なお知らせを最優先した紙面構成に取り組む。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 682

事務事業名称	広報活動及び報道機関対応事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1960(S35)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	新聞やテレビなどのマスメディアから情報を得る人。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを特に知りたいが、広報紙では、すべからく情報が掲載されていてよくわからない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新聞などのマスメディアへの掲載を通じて広く市の取り組み等が市民等に伝わるよう積極的なプレスリリースや報道対応を行っている状態。				
事業概要	①定例記者会見(市長など市幹部が定例議会前の議案説明を中心に市政をPR。年4回実施)②レクチャー(担当部局が市の政策・事業の中で、ニュース性の高いものを随時、記者クラブで説明)③資料提供(説明までは必要のない市政情報を文書で提供)④広報課取材記事の提供(市政のPRとなるもの、地域の話題などを取材して写真と記事を提供)⑤各課に配置した広報担当職員を中心に、広報意識を高めて全庁的な情報発信力の強化を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		広く市の取り組み等が市民等に伝わる。				市民が特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを知る機会が増える。				プレスリリースを実施する。			
指標設定	指標説明	スマホアンケートでメディア等で枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人の割合 【枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				プレスリリースがメディアに取り上げられた件数(延べ)				プレスリリース数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	89%				44%				106%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,754	11,786	11,718		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,754	11,786	11,718		
	物件費計	1,692	3,250	5,155	9,310	55.4%
	歳出計	16,446	15,036	16,873		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,692	3,250	5,155	9,310	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>枚方記者クラブをはじめとする報道機関に対して、記者会見、プレスリリースなどで適切なタイミングを図って情報を提供した。</p> <p>情報発信施策推進委員会の取り組みとして、ワーキングチームの議論を踏まえた情報発信ガイドライン(マインド編)の作成やプレゼンテーションの世界的第一人者ガーレイノルズさんの全職員向け情報発信研修を総文大ホールで実施するなど、全庁的な情報発信力の強化を行った。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>情報発信施策推進委員会の取り組みとして、情報発信ガイドライン(スキル編)の作成、情報発信力強化に向けた研修の実施、新たに庁内ヨコグシ連携で施策をPRするアピール企画を実施する。</p> <p>全庁的な情報発信力の強化によってメディアへの露出増加を図り、市の魅力が広く伝わることを目指す。</p>

事務事業実績測定調査

R4調査番号 683

事務事業名称	市勢要覧発行事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市に関して知識のない市外の人。			
	サブターゲット	枚方市に関して知識のない外国人。			
	ターゲットが抱える課題	枚方市の概要について調べることが困難なため、簡潔に知る方法がほしい			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる冊子がある。				
事業概要	*平成28年3月に、市外の人に枚方市の魅力が伝わる内容を目指して全面改訂し、日本語版6000部、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版各1000部の合計9000部を作成。公共施設のほか、ひらかたパークやくずはモールなどの民間施設にも設置した。*報道機関等にも取り上げられたことや、ふるさと寄附金の返礼品への同封などから配布部数がさらに増加し、日本語版を平成28年度に12000部、平成29年度に12000部増刷した。*英語版、中国語版についても、市民の協力を得てフランスや上海のイベントでも配布されたことから平成30年度に英語版1000部、中国語版500部を増刷した。*平成30年度配布分については在庫により対応したため、作成(増刷)部数は外国語版1500部のみとなっている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																																						
	枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる。	市外の方、および市内外の外国人の方に市の情報を提供できる。	日本語版、および外国語版の市勢要覧を発行する。																																																						
指標設定	指標説明	市勢要覧(令和2年度)配布部数	市勢要覧(令和2年度)発行・増刷部数																																																						
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																																						
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> <th>単位</th> <th>冊</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>目標(見込み)</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>9,000</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>15</td> <td>45</td> <td>42</td> <td></td> <td>4,000</td> <td>5,000</td> <td>6,000</td> <td></td> <td>0</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	単位	冊	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	目標(見込み)	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000	9,000	5,000	5,000	5,000	実績	15	45	42		4,000	5,000	6,000		0	6,000	6,000		<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>冊</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td colspan="3">53%</td> <td colspan="3">100%</td> <td colspan="3">120%</td> </tr> </table>	単位	冊	R2	R3	R4	R5	達成度	53%			100%			120%		
	単位	%	単位	冊																																																					
R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5																																																		
目標(見込み)	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000	9,000	5,000	5,000	5,000																																													
実績	15	45	42		4,000	5,000	6,000		0	6,000	6,000																																														
単位	冊																																																								
R2	R3	R4	R5																																																						
達成度	53%			100%			120%																																																		
達成度	53%			100%			120%																																																		

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	0	0		
	物件費計	0	196	192	400	48.0%
	歳出計	798	196	192		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	196	192	400	

5. 総括的分析

総括的分析	ふるさと納税寄附金受領証明書に同封するほか、市内外のイベントなど多様な機会をとらえて来場者等に配布し、市のPRに活用した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き市外向けの配布を行い、市のPRに取り組む。また、令和5年度中の改訂版作成に向け事業を進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 690

事務事業名称	ひらかた便利帳発行事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1978(S53)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市に暮らす市民、あるいはこれから暮らす市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市役所の手続きやごみの出し方、まちの医療機関についてなど、生活するうえで知りたい情報がほしい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知る方法がある。				
事業概要	転入者に配布できるよう必要に応じ改訂版を増刷するとともに、定期的な全戸配布を目指す。平成2年から平成12年までは隔年全戸配布した。その後は財政面から転入者と希望者に配布。平成19年に市制施行60周年記念として9年ぶりに全戸配布。平成21年、26年にも民間企業と共同で経費を抑えて全戸配布。26年、29年、令和元年発行分については共同発行事業者を公募型プロポーザル方式で選定。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)					
	行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知ることができ、満足度が向上する。	市民に全戸配布したうえで、転入者、および希望者に対しても、ひらかた便利帳を配布する。	ひらかた便利帳を発行する。					
指標説明	スマホアンケートで便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人の割合 【算出式:便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】	ひらかた便利帳2020配布部数	ひらかた便利帳2020作成部数					
	単位 %	単位 部	単位 部					
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標					
指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5					
	目標 (見込み)	80 80 80 80	187,000 3,000 3,000 3,000	200,000 0 0 0				
	実績	88 70 68	187,000 3,000 3,000	200,000 0 0				
達成度	85%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	0	4,687		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	0	4,687		
	物件費計	665	0	0	0	
	歳出計	1,463	0	4,687		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	665	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、市民課窓口等で転入者に在庫の便利帳2020を配布。およそ3年ごとに改訂する便利帳2023の作成を進めた。ホームページやSNSなど情報を取得できる媒体の一般化により便利帳の有用性が低下傾向。公民連携によって印刷・デザイン・配布費用は発生していないが、作成に係る人件費は発生しているため、今後のあり方について検討が必要。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	<p>ひらかた便利帳2023は令和5年5月に193,500部発行し、6月中に全戸配布。3年ごとの改訂予定だが、今後の発行については市民アンケートや費用対効果を踏まえた検討が必要。</p>

事務事業名称	シティプロモーション推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	内部事務	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市民、市内事業者、枚方市と関わりのあるあらゆる世代の人たち			
	サブターゲット	メインターゲットを除く市外在住者			
	ターゲットが抱える課題	枚方市への関心・興味が低く、市の魅力が伝わっていない。			
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れはあるが、まちに関する情報が届いていない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民と行政との関わりを深めながら、共に市の魅力を発信することでまちに対する関心が高まり、その関心の高まりがサブターゲットへと波及することで、市内外の幅広い人々に枚方市に対する興味・関心を持たれる。 ひらかたプロデューサーズの取り組みが行政と市民の協働による新たな魅力・賑わいの創出につながるとともに、市民それぞれのネットワークを通じた広範囲な情報の拡散、市の魅力の伝達が行われている。				
事業概要	①枚方市PR大使…枚方市の魅力を情報発信していただき、イメージアップ及び交流人口の拡大を図る。 ②ひこぼしくん…地域資源を活用したキャラクターを活用することにより、市全体のシティプロモーションの推進を図る。 ③枚方市テーマソング関連…歌を通して人のつながりや広がりをつくるとともに、映像を活用しながら枚方市の魅力を発信する。 ④ひらかたプロデューサーズとの取り組みを通して、行政と市民が枚方市のシティプロモーションを一緒に考えることで、協働のまちづくりの機運を高める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。				まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使や地域との取り組みが、より多くの人たちに枚方市の魅力を伝える。				まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使や地域との関連イベントなどを実施し、枚方市の魅力をPRする。			
指標設定	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げ				枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携イベントに関わった人の総数				まちの愛着や熱量の増加などに向けた「枚方市PR大使」やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	5	5	5	300	300	300	300	11	15	16	16
	実績	-	26	36		213	395	2,919		26	25	29	
達成度	720%				973%				181%				
ロジックモデル②		取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。				「ひこぼしくん」が民間のイベント等でも活用される。				「ひこぼしくん」のキャラクターを菓子類や包装紙類・キャラクターグッズ販売などの使用を広く推進するとともに、着ぐるみについても各種イベントでの活用などに向けて、情報発信を行う。			
指標設定②	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げ				「ひこぼしくん」のキャラクター及び着ぐるみの貸出件数(庁内外)				枚方の魅力をPRするひこぼしくん公式Twitterのフォロワー数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	5	5	5	200	220	230	240	750	1,250	1,500	1,750
	実績	-	26	36		130	72	76		889	1,100	1,295	
達成度	720%				33%				86%				

		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
ロジックモデル③		取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。	枚方市の映像を見ることにより、本市の魅力が伝わり共感する。				枚方市テーマソングなど枚方市の魅力発信となる映像を制作する。						
指標設定 ③	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げ	Youtube枚方市チャンネル登録者数				Youtube枚方市チャンネルへの映像配信数						
		単位 人	単位 人				単位 件						
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	5	5	5	1,500	2,500	3,000	3,500	12	12	12	12
実績	-	26	36		4,490	8,120	9,950		253	103	233		
達成度	720%				332%				1942%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.70
再任用	0.00
任期付職員	1.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	21,607	17,560		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	21,607	17,560		
	物件費計	-	652	5,915	6,874	86.0%
歳出計	-	22,259	23,475			
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	その他	-	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	-	0	0	0		
一般財源(物件費に充当されるもの)	-	652	5,915	6,874		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で対面での取り組みは多くなかったが、市テーマソング「この街が好き」関連事業ではイベントの制限緩和により「1000人で大合唱」や普及ライブを実施した。また、NIKKEI全国社歌コンテストでは最優秀賞を受賞し、より認知度向上につなげることができた。</p> <p>ひこぼしくんの着ぐるみ貸出数は昨年とほぼ変わらなかったが、イベント出演時にひこぼしくん公式Twitterで積極的に投稿したことでフォロワー数は増えた。</p> <p>市PR冊子「のぞき見枚方」には市PR大使の森脇健児さんを起用し、市内のランニングコース紹介を通して市の魅力を発信した。同じく市PR大使のパナソニックバンサーズとコラボしたふるさと寄附返礼品は昨年度からパワーアップさせ、体験できる内容を変えて2回実施した。世間に知名度のある市PR大使とコラボした取り組みを積極的に行ったことで、メディアに取り上げられた回数は増加した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	<p>新型コロナウイルス感染症が5類になったことに伴いイベントの増加が見込まれるため、ひこぼしくんの積極的な出動企画を新たに打ち出し、市民へのさらなる周知を図る。令和5年度はPR大使の活動をより増やしていく。そのため新たに芸人から俳優・アイドルなど幅広い分野の著名人を新PR大使として迎える。また事業コンテンツの周知には動画を最大限に駆使し、枚方市民だけでなく、市外への認知を広められるよう力を入れる。市テーマソングでは市内のお祭りや教育現場でも利用されるよう今後も活動していく。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 800

事務事業名称	ふるさと寄附金推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	現在市外に住んでいる枚方出身者や枚方にゆかりのある方。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れがあるにもかかわらず、遠方に住んでいることで故郷との関係性が薄くなっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつながっている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと寄附金基金担当課、関係課及び返礼品協力事業者との連絡・調整 返礼品の開発審査及び決定・返礼品協力事業者の開拓、審査及び決定等 業務委託事業者の調査、契約事務 ふるさと納税専門ポータルサイトの管理 ふるさと寄附金を通じた魅力の発信 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつながる。				枚方市へふるさと寄附がなされる。				枚方市へのふるさと寄附の増加に向けて、ふるさと寄附に関する情報発信を行う。			
指標設定	指標説明	枚方市へのふるさと寄附金額 (ふるさと納税ポータルサイト利用分)				枚方市へのふるさと寄附件数 (ふるさと納税ポータルサイト利用分)				ふるさと寄附に関する情報発信数 (プレスリリース、外部メディアへの掲載)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)	68,127	73,712	109,000	119,000	3,050	3,300	4,480	4,900	3	4	5	6
	実績	350,041	137,519	153,227		3,926	3,745	5,947		11	19	26	
達成度	141%				133%				520%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.39
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,963	7,857	10,937		
	会計年度任用職員	850	1,392	716		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,813	9,249	11,653		
	物件費計	34,459	39,462	68,035	152,258	44.7%
	歳出計	47,272	48,711	79,688		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	34,459	39,462	68,035	152,258	

5. 総括的分析

総括的分析	寄附件数及び寄附金額共に前年度数値・目標数値を上回ったが、市外への流出額との差し引きではマイナスとなっている。引き続き、新たな返礼品の開拓や、新たなポータルサイトの導入など、寄附金額の増加に向けた取り組みが必要。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	新たな返礼品の開拓や新たなポータルサイトの導入、プロモーション活動の実施など、寄附金額の増加に向けた取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 847

事務事業名称	広報プロモーション課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	広報プロモーション課職員・職場。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	広報プロモーション課における事業が円滑に執行できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	広報プロモーション課の各事業等が円滑に執行出来ている状態。				
事業概要	市議会に関する連絡調整。災害時における情報の市ホームページ掲載、報道機関への連絡など広報活動。庁内外への照会・回答処理。財務・会計・契約・文書管理。北河内7市で構成する北河内広報連絡協議会の運営事務等。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.02
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.39
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,981	7,857	7,968		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,981	7,857	7,968		
	物件費計	405	457	1,989	3,634	54.7%
歳出計		6,386	8,314	9,957		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		405	457	1,989	3,634	

5. 総括的分析

総括的分析	広報プロモーション課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の運営について円滑かつ適正な処理を行う。